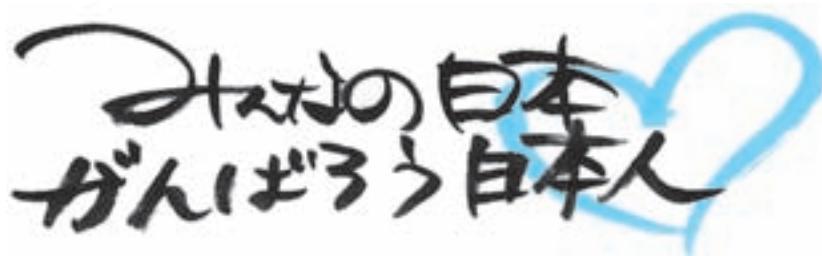


朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成をめざします。



2012年度朝日大学の事業計画が、学校法人朝日大学理事会において決定された。
「選ばれる大学、魅力ある大学づくり」をめざし、宮田侑理事長のもと、大友克之学長
をはじめとする全教職員が一体となっての事業計画がスタートする。



明珍裕子選手(福島県出身:鹿児島実業高校卒)

HOT TOPICS



「建学の精神」に基づき 「選ばれる大学、魅力ある大学」をめざす

2012年度事業計画が決まる

2012年度の事業計画が、本年1月の理事会で決定された。

「みんなの日本、がんばろう日本人」を合い言葉に東日本大震災や原発問題からの復興をめざす我が国。現下の厳しい社会情勢や少子化の到来にあって、「教育」の重要性が一層増しているなか、朝日大学では「教育の質の向上」、「教育研究環境の整備」、「地域社会への貢献」を最重要課題と捉え、事業計画・予算の基本方針として次の点を挙げている。

基本方針

- 若者の夢の実現に向けた経済的支援(学費減免等)、知的・人的資産を活かした社会貢献活動の継続と積極的な情報発信を行うこと
- アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づき学士力の強化をはかること
- 法令遵守の徹底と、国際社会で活躍する人間的知性に富む人材の育成に努めること
- 学生の就学環境の向上をはかること
- 教育後援会・同窓会、高等学校、弁護士会、経済団体、歯科医師会等との緊密な連携強化に引き続き努めること
- 本学医療機関を通じ地域社会への貢献と先進的医療の提供に全力を挙げること
- 諸施策の確実な実行のため、強固な財務基盤を確立すること

「混迷を深める今だからこそ、教育の重要性が問われている」
教職員を前に2012年度授業計画の基本方針を述べる宮田脩理事長



また、この基本方針に基づき決定された事業計画(重点項目)は下記のとおりである。(事業計画の詳細については大学ホームページで公開中)

I 学生募集

II 教育の質の向上

III 体育会の育成強化

IV 就職対策

V 組織改編等

VI 地域社会との連携

VII 活発な国際交流の堅持

VIII 教育後援会・同窓会との連携

IX 施設・設備の充実

X 医療を通じた社会貢献

XI 堅実な資産運用等

「SD研修会」を開催

教育職及び事務職の管理者を対象としたSD研修会が開催された。講師を務めた大友克之学長、菱田健治常務理事、岡村明夫常務理事からは「2012年度事業計画の概要」と「本学の現状分析」について詳細に解説がなされた。



大友学長、菱田・岡村両常務理事が講師を務める

SD [staff development]

職員の意識改革、能力開発の実践的手法

職員の資質向上が不可欠

大学(高等教育)では、教育研究活動をサポートする事務職員の資質向上が不可欠であり、教職員のFD(ファカルティ・ディベロップメント)活動推進と共に、教育・事務職員によるSD(スタッフ・ディベロップメント)活動のさらなる活性化が求められている。

研修会出席者たちは、建学の精神に基づき大学改革のより一層の推進と組織力強化をはかることが「選ばれる大学、魅力ある大学づくり」につながるものであるとの認識を深めた。

FD [faculty development]

教員の教育力を高めるための実践的手法

海外大学との交流

大友克之学長と荒深友良教授(経営学科)らが、北京大学口腔医学院、北京外国语大学、中国国家外国專家局を訪問した。

姉妹校協定を締結している北京大学口腔医学院では、徐韜院長(学部長)と相互学生交流や共同研究の発展的継続を確認。教員・科目等履修生の受け入れ事業を継続している北京外国语大学では、陳雨露学長と両校の交流関係のさらなる活性化策を論議。また、中国国家外国專家局では、劉延國副局長と会談し、大友学長は、これまでの対日業務に対する感謝の意を表明すると共に、今後も日中両国発展のため、なお一層の努力を積み重ねていくことを告げた。



北京大学口腔医学院で徐院長らと会談

ドイツからの表敬訪問



ルートヴィックスハーフェン経済大学からの表敬訪問

また、穂積キャンパスでは、留学生別科日本語研修課程に留学生を送り出しているルートヴィックスハーフェン経済大学東アジアセンターのフランク・レーヴェカンプ教授(経営学博士、同大学理事)の表敬訪問を受けた。同教授は、森下伊三男副学長をはじめとする本学関係者と、和やかな雰囲気のなか留学生の相互派遣や両国の高等教育事情などの意見交換を行うと共に、留学生別科ほか朝日大学の修学環境などを視察した。

OSCE評価者養成ワークショップ開催

「2011年度第1回共用試験歯学系OSCE評価者養成ワークショップ」が、全国の歯科大学(大学歯学部を含む)、(社)医療系大学間共用試験実施評価機構などから100名を超える関係者が集い、穂積キャンパス6号館で開催された。

「共用試験」とは、歯学部教育での臨床実習において、将来、学生が「医療行為を行いうる知識と技能を習得しているか否かを評価する」ための試験のことと言う。

客観的評価の公正性を検証

今回開催された「OSCE評価者養成ワークショップ」では、評価者養成を目的とし、2011年度版のOSCE評価シート(Objective Structured Clinical Examination)、シナリオ(模擬患者の状況設定内容)と想定問答集(受験者と模擬患者との間で展開されるであろう受け答えを具体的に記載)を行い、OSCEの客観的評価の公正性が保持されているかなど、2日間にわたり討議や検証が行われた。



各グループで熱心な討議が行われる

本学歯学部の永原國央教授(共用試験実施部会長)らが中心となり開催された今回のワークショップが、より良い歯学教育の取り組みへと繋がることが期待される。

入学前セミナーを開催

歯科医師への道がスタート

「歯学部入学前セミナー」が、穂積キャンパス及び大垣フォーラムホテルにおいて1泊2日の日程で開催され、今春の入学を心待ちにしている入学予定者が参加した。

このセミナーは、歯学部の教育内容を事前に説明のうえ、入学時までの有意義な時間の過ごし方等をアドバイスすることを目的として毎年開催されているものである。



活発なグループディスカッションが展開(歯学部)

セミナー会場では、田村康夫歯学部長から「入学までの貴重な時間を将来の歯科医師という夢に向けた歩みの期間としてもらいたい」との挨拶がなされ、その後、磯崎篤則教務委員長、近藤信夫学生生活委員らからは、「教育方針、歯学教育の現状」や「歯科医師をめざす学生像」などの説明がなされると共に、入学までの学習についてのアドバイスが行われた。グループディスカッション、チューターらとの座談会やボーリング大会では、参加者と本学教職員との交流もはかられ、セミナー参加の入学予定者たちは、朝日大学での充実した学生生活に夢と希望をふくらませていた。

スタンプラリーで施設見学

また、経営学部経営情報学科でも「入学前セミナー」が穂積キャンパスで開催され、多くの入学予定者が参加した。

森下伊三男副学長、板谷雄二学科長からの「学生生活ガイダンス」を受け、教員や在学生らとの昼食会で交流を深めた参加者は、スタンプラリーで学内施設を見学したり、模擬授業を受講したりと、経営情報学科での学びを体験した。

参加者からは「大学生活への不安が解消された」などの感想が寄せられ、有意義な「入学前セミナー」となった。

オープンスクールを実施

岐阜県立岐阜商業高等学校、岐南工業高等学校、山県高等学校、大垣桜高等学校の生徒たちが、穂積キャンパスに相次いで来学しオープンスクールに参加した。

今回の訪問は、高等学校における「体験学習」の授業の一環として「卒業後の進路選択」の参考となるよう大学、短大や専門学校等を生徒たちが訪問しているものである。

オープンスクールで大学生を体験

生徒たちは、本学の講義室や模擬法廷で「センサーとICT」、「昔話“桃太郎”で法律の概念を学ぶ」、「裁判員制度へのかかわり」などのミニ講義を受講。また、DVDで大学で学ぶことの意義や学生生活の過ごし方などを聴講すると共に、LL教室、スポーツ施設、附属病院などのキャンパス見学を行った。

ミニ講義で真剣な表情でメモをとり、キャンパス見学での充実した学生アメニティーの数々に目を輝かせていた生徒たちは「1日大学生」を朝日大学で体験した。



「劇団朝日」の法廷劇で裁判員制度を学ぶ

TOPICS



「優秀論文賞」を受賞

歯学部の飯沼准教授(小児歯科学)らが、第49回日本小児歯科学会(開催地:盛岡市)で「優秀論文賞」を受賞した。

「優秀論文賞」は、日本小児歯科学会の英文誌「Pediatric Dental Journal」に掲載された論文が選考の対象とされ、厳正な審査の結果、飯沼准教授らの論文が選ばれた。

今回の受賞論文は、飯沼准教授らの研究室で行われている「老化促進モデルマウスを用い、若年期の歯の喪失が老年期の中枢、特に海馬に及ぼす影響」を論じたもの。

同研究室では、市橋幸子助教の「デンツプライ賞」受賞、日置容子氏(元歯学研究科大学院生)の「優秀論文賞」受賞に続く快挙であり、今後さらなる研究の発展が期待される。



「優秀論文賞」受賞の飯沼准教授(左)
と田村康夫歯学部長

法学部で「特別講義」開催



法学部では、各分野で専門的な知識・知識を有する外部講師を招聘し「特別講義」を開催している。

共生社会の実現に向け

杉島正秋法学部長がコーディネーターを務めた「障害者の権利保障」の授業では、岐阜市視聴覚障害者福祉協会の会長を20年近く務め、視聴覚障害者の権利擁護のために活躍されている川上昭雄氏から、国連の取り組みや地域社会での行動事例などを交え、「共生社会の実現」に向けた取り組みについての講義が行われた。受講学生からは、「コミュニケーションや助け合いの重要性を学ぶことができ、とても有意義な時間であった」との声が聞かれた。

多文化共生の意識を持つ

また、犯罪被害者週間に合わせ大野正博教授(法学部)を中心に企画された「犯罪インフラの実態と対応」の授業では、外国人犯罪の情勢や外国人との共生の大切さについて理解を深めた。

岐阜県国際交流推進有識者会議の河合雅子委員、岐阜県警組織犯罪対策課の山内登調査官、大野教授など講師陣からは、「多くの外国人が生活している岐阜県では、外国人犯罪の現状を理解しつつ、多文化共生の意識を持つことが大切である」と語られた。

就職活動本格スタート

大学生の就職環境がますます厳しさを増すなか、法学部・経営学部3年生の就職活動がいよいよ始まった。

本学では、就職支援の一環として就職活動を直前に控えた学生を対象に、大垣フォーラムホテルにおいて「面接合宿トレーニング(1泊2日)」を1月に実施した。

ビデオで面接の様子を確認

同合宿では、地元企業の人事担当者を講師に招き、「自己分析・PR、志望動機の作成」から「模擬面接」まで、実践的で幅広い指導が2日間にわたり行われた。参加した学生たちは、就職戦線を目前に控え真剣な面持ちで講師のアドバイスに耳を傾け、それぞれが手応えを感じている様子であった。



「模擬面接」はビデオで確認

積極的に自己アピール

また、2月には岐阜都ホテル(岐阜市)において「朝日大学2012就職セミナー」が開催された。

このセミナーは、本学学生の採用実績のある東海地区を中心とした企業を招いて行う本学独自の就職説明会で、毎年学生たちが自分を積極的に企業へと売り込む場となっている。参加企業は90社を超え、約250名のリクルート姿の学生が企業ブースに足を運び、採用担当者と面談した。



企業ブースで採用担当者と面談

セミナー終了後、企業担当者からは参加学生の意欲・熱意の高さに評価が集まり、入学時から取り組んできた就職活動に対する備えの成果が大いに感じられる「就職セミナー」となった。

成人式で歯科検診

岐阜県山県市の美山中央公民館で行われた成人式で「記念歯科検診」が実施された。同市成人式での歯科検診は、今回初めての実施。検診当日は、歯学部社会口腔保健学研究室の歯科医師や歯科衛生士らが、山県歯科医師会(岩見弘司会長)との連携をはかり新成人の歯科検診を行うと共に歯の健康管理についてアドバイスを行った。

地域社会の健康を守る

振り袖やスーツ姿の新成人たちは、歯科医師から虫歯の有無を診てもらったり、ブラッシング指導などを受けていた。

歯科検診を監修した同研究室の磯崎篤則教授は、「成人式を迎えた若者の歯の健康に対する意識は非常に高いものがある。これからも検診を通じて地域社会の健康を守っていきたい」と語った。

社会人基礎力 グランプリで奨励賞

全国の大学生チームが、授業や諸活動などを通じて社会人に必要な自主性や協調性などを身につけ、どれほど成長したかを競う「社会人基礎力育成グランプリ中部大会」が、経済産業省などの主催により開催された。



「奨励賞」のダブル受賞を大友学長へ報告

地域社会との連携をはかる

同グランプリへは、本学からは法学部の大野正博教授(刑事訴訟法)及び宮坂果麻理講師(刑法)が指導する「劇団朝日」と防犯ボランティア団体「めぐる」が出場し、共に「奨励賞」を受賞した。「裁判員裁判制度の導入」をきっかけに、高等学校や各種催事へと出かけ裁判の様子や仕組みを法廷劇としてわかりやすく演じる「劇団朝日」、また、「めぐる」は防犯ボランティア団体として、岐阜県警北方署や、瑞穂市役所との連携をはかり、小学校での防犯教室や様々な防犯街頭啓発活動を展開していることが大きく評価され、今回の「奨励賞」受賞へとつながった。

両団体の設立当初から見守っている大野教授は「今回の受賞は周囲からの支えによるもの、常に感謝の気持ちを忘れることなく地域社会に役立つ社会人となってほしい」と語った。

「日本の伝統文化」を学ぶ

茶道やゆかたを体験

留学生別科日本語研修課程では、授業(日本の文化)で「日本の伝統文化」を学んだ。

「茶道」の授業では、茶道の歴史や道具の使い方などを学んだ後、茶筅でお茶をたてて味わった。学生たちからは、「和菓子と抹茶がベストマッチだった、正座で足がしびれ大変だった」などの声が聞かれた。

また、「ゆかた」の授業では、着物の歴史や着付けの先生から着方を



正座でお点前を体験する留学生たち

学んだ後、実際にゆかたを着てみた。学生たちは、「ゆかた姿はとても綺麗だった、帯の結び方が難しかった」などの声が聞かれた。

留学生たちは、茶道やゆかたの体験を通じ楽しそうに「日本の伝統文化」を学んだ。

経営学研究科の研究成果発信

穂積キャンパス5号館講義室において、大学院経営学研究科主催による「第5回公開講演会」が開催された。同講演会は、大学院経営学研究科の教員が日々取り組んでいる研究の成果を地域社会・産業界に広く発信し、地域貢献を果たすことを目的としている。

情報通信の未来

今回の公開講演会では、「仮想化する情報通信ネットワーク」と題し矢守恭子准教授(情報管理学分野)が講師を務めた。矢守准教授は、東日本大震災で、情報通信ネットワークをはじめとする各種通信網や交通網は壊滅的な被害に遭い、復旧までに大変な労力と時間を要した教訓から、新しい情報通信ネットワークの基盤技術を整備することが不可欠であり、その一つの方策が「ネットワーク仮想化の技術」開発であると解説した。

会場には、関係企業から、また、教職員・学生ら約50名が集い、震災の教訓により得られた情報通信ネットワークの未来社会を想像しつつ真剣な表情で講演に聞き入っていた。



矢守准教授が「ネットワークの未来社会」を解説

「ネットワーク コンソーシアム岐阜」 で成果報告

ネットワークコンソーシアム岐阜では、学生が地域の課題について調査・研究等を行い、その解決策を提案する事業を展開している。



地域社会への貢献

JR岐阜駅サテライト教室で開催された「学生による地域課題解決提案事業成果報告会」では、岐阜県内大学から14の団体が参加し、それぞれ成果報告を行った。本学からは、法学部の学生で組織する「朝日大学“法”送局」と防犯ボランティア団体「めぐる」が参加。両団体は、地域が抱える課題に対し、日頃の地域住民との連携活動を通じいかに問題解決をはかっていったのかなど具体的な事例を発表した。

法学部では、このほか「劇団朝日」や「法学部ECOプロジェクト」の活動も行われており、地域貢献活動のさらなる展開が期待される。



小学校で防犯教室を開催する「めぐる」

ネットワークコンソーシアム岐阜

岐阜県内22の大学と短期大学、高等専門学校と岐阜県で組織する連合体。単位互換授業、共同授業や多彩な公開講座の開催などを行っている。


EVENT


岐阜県トラック協会との共同研究

「地域物流市場と情報システム」をテーマとする産業情報研究所(所長:小畠信史教授)主催の研究会が、穂積キャンパス6号館講義室で開催された。

同研究所では、知的・人的資源を地域社会や産業界へ還元し地域の発展に寄与することを目的に、2008年度から(社)岐阜県トラック協会との共同研究を実施している。

今回の研究会では、本共同研究のプロジェクトリーダーである忍田和良客員教授から、「地域物流市場の高度化策に関する調査・研究(事業者編)」の概要について報告が行われた。また、(株)セイノー情報サービスの林秀樹取締役からは「事業継続に有効なロジティクス・サービスの構築」についての発表もなされ、報告内容を一層興味深いものとした。

今回のプロジェクト研究の代表者である土井義夫准教授(経営学科)は、「産業情報研究所を通じた積極的な情報発信に努め、より一層、地域産業界との連携を深めて行きたい」と語った。



忍田客員教授が研究成果を報告

入院患者へひざ掛けを贈る

附属村上記念病院では寒さを迎える時期に入院患者へひざ掛けを贈っている

この行事は、毎年行っている催事で、本附属病院とかかわりのある森プリント(株)社長(本社:岐阜県羽島郡笠松町米野)の森典義氏、地元各繊維会社の協力を得て寄付を受けたひざ掛けとブリザーブドフラワーを入院患者一人ひとりへ贈った。

心のこもった贈り物

本院非常勤講師でいちだクリニック院長(岐阜市清本町)の市田正



入院患者へひざ掛けを贈る

成先生、病院長らがサンタクロース姿に扮して病室を訪問。「元気になってください、お大事に」と患者さん一人ひとりに声をかけてひざ掛けを渡すと、患者さんは「心のこもったぬくもりをありがとう」と笑顔をほころばせていた。

医療的ケアを考える

NPO法人医療的ケアネット(京都市)が主催し、歯学部玄景華教授(障害者歯科学)が実行委員を務める「医療的ケア実践セミナー in Gifu」が、穂積キャンパス6号館で開催された。

支援ネットワークの重要性

同セミナーには、全国から医師、歯科医師、福祉、教育分野の約550名が参加。酸素吸入やたん吸引などの看護と介護が必要な重症心身障害者の医療的ケアについて2日間にわたり様々なシンポジウムや交流会が開催され、参加者たちは、医療機関と支援者とのネットワーク化の重要性を学び、障害者に対する日常生活支援への理解を深めた。

なお、今回、東日本大震災の被災地域からの参加もあり、「東日本大震災と障害者支援」と題し、講演を行った宮城県内の医師らは、「地元の行政機関がマヒする中で、日頃からの人間関係こそ最も頼りになった」と、あらためて「絆」の大切さを語り、参加者たちからの共感を得ていた。

「ベースボール・アカデミー」開催

岐阜県野球協議会が主催し、朝日大学が共催する公開講座「ベースボール・アカデミー」が、穂積キャンパス5号館講義室で開催され、約200名の聴講者が熱心に耳を傾けた。

今回の講座では、「世界に通じる指導者とは」をメインテーマに、野球、空手道、ソフトボールの選手として、また、指導者として数々の国際大会での実績を有する3氏を講師に招き、体育会硬式野球部の林卓史監督(ビジネス企画学科講師)を加えた4名による対談が行われた。

練習は不可能を可能にする

対談では、慶應義塾元塾長の小泉信三先生が遺された名言「練習は不可能を可能にする」を基に、選手との接し方、練習環境づくりなどユーモアを交えた多彩な話題がくり広げられ、練習や目標設定の大切さが熱く語られた。



トップ指導者の対談が実現する



・日本代表の重み



・日本代表の喜び

講師紹介

西濃運輸野球部監督・岐阜県野球協議会理事長 後藤寿彦氏

(東京六大学野球で3冠王獲得、全日本チーム監督ほか)

西濃運輸空手道部監督 若井敦子氏

(世界空手道選手権4連覇、ワールドカップ優勝ほか)

大垣市ミナモソフトボールクラブ監督兼選手 伊藤良恵氏

(シドニーオリンピック金メダル、アトランタオリンピック銀メダルほか)

フェンシング

全日本選手権で悲願の初優勝

「全日本フェンシング選手権」が本年の国体開催地である大垣市武道館で開催され、体育会フェンシング部が創部10年目で悲願の初優勝を果たした。

同大会は国内最高峰の大会として位置づけられ、この大舞台で社会人を相手に果敢に挑み、過去6度の優勝実績を有する強豪社会人チーム香川クラブに決勝戦でみごと勝利し、「全日本選手権」で「日本一」に輝く「女子エペ団体」で「日本一」の栄冠に輝いた。また、同大会において「女子サーブル団体」でも、社会人チームNEXUSに敗れはしたものの、2年連続の3位入賞を果たした。新井祐子総監督はエペ団体の試合を振り振り、「チームワークで獲得した勝利、100点の出来」と選手たちを讃えた。



岐阜新聞スポーツ賞

全日本選手権で優勝を果たした女子エペチームは、2011年度の主要5大会(関西学生リーグ、全日本学生王座決定戦、関西学生選手権、全日本学生選手権、全日本選手権)の完全制覇を成し遂げ、その競技結果が認められ、「第38回岐阜新聞スポーツ賞」を受賞した。主将の伊藤真美(法4年・宮城)は授賞式で、「今秋開催される『ぎふ清流国体』で活躍し、東日本大震災の被災地の皆様に元気と勇気を与える」と今後の抱負を語った。

フェンシング大会を開催

瑞穂市内のサンライズジム及びフェンシング場で「朝日大学フェンシング大会」が開催された。同大会には、県内外の高校フェンサーたち約150名が集い、日々の練習成果を発揮しようと練習会、予選・決勝リーグで熱戦を繰り広げた。



フェンサーたちの熱き戦いが
くり広げられた

これまでの同大会は、国際大会で活躍する部員や指導者を有する体育会フェンシング部が中心となり、競技力の向上、高校と大学との交流、地域社会に開かれた大学をめざし、学内フェンシング場が完成した2002年度から「AU杯」として毎年開催してきた。昨年の大会からは、今秋開催の「ぎふ清流国体」を契機に県外強豪校への参加も呼びかける形へと規模を拡大し、大会名も改称して開催。10年目を迎えた今回は、県内外からの強豪選手たちによるハイレベルな戦いがこれまで以上に数多く見られる大会となった。

参加高校

県内／大垣南、羽島北、岐阜各務野、揖斐、鶴谷、岐阜ミナモチーム
県外／鳥羽、津東、水橋、高崎商科大学附属、松任、同志社女子、富山西、三本松



SPORTS

剣道

朝日大学鍊成会

体育会剣道部の主催による「第10回朝日大学剣道鍊成会」が、大垣市武道館で開催され県内外強豪校の高校剣士たちが集った。

同鍊成会は、高校剣道の競技力向上と本学体育会剣道の活動を県内外にアピールすることを目的として2003年から毎年開催されており、当時は約300名の高校剣士(県内11校、県外7校)らが参加。全国トップクラスの大坂清風高校剣道部元監督で、本学剣道部の神山勝郎監督による指導の下「基本鍊成、試合鍊成、稽古会」に真剣に取り組んでいた。

「心技体」を磨く

会場となった武道場には強豪剣士の交える剣音が鋭く響き、全国選抜大会を間近に控えた剣士たちにとって「鍊成会」は、技術・競技力向上の充実した一日となった。



全国から強豪剣士が集う

CLOSE UP

プロの頂点をめざせ

体育会自転車競技部の明珍裕子選手(ビジネス企画4年・鹿児島)は、みごと「第104回日本競輪学校入学試験」に合格し、今春5月に女子第2期生として日本競輪学校へ入学する。

元競輪選手を父に、学生記録を保持する兄を家族にもつ明珍選手は、自転車競技を極めるため、地元福島を離れ名門鹿児島実業高校へ進学、そして、名将山崎好弘監督が指導する朝日大学へと進んだ。高校時代に頂点に立つことができなかつた悔しさをバネに、明珍選手は日々過酷な練習に取り組み、持ち前の明るさと努力が実を結び、全日本学生選手権や全日本インカレほかで6度の優勝を手中に、また、日本代表として数々の国際大会出場を果たし、若者の祭典ユニバーシアード大会(中国)では、チームロード5位入賞の輝かしい競技成果を収めた。



全日本学生TTロード(2010年)優勝の明珍選手

在学中に「最優秀選手賞(ロード部門)」を2度受賞した明珍選手は、今後、日本競輪学校でプロ選手としての競技力を身につけ、2013年夏に女子競輪選手としてデビューする予定。めざせ、プロの頂点を。

NEWS



沖縄で教育懇談会開催



歯科医師の魅力を語る山内教授
(歯学部入試委員長)

懇談会では、即戦力として実社会に旅立つことができる魅力ある教育内容、きめ細かな指導体制、充実した医療体制や施設設備がそれぞれ紹介された。説明を聞いた父母たちからは、「沖縄とは気候などの違いはあるものの、学べる環境が整っており安心して子供を送り出すことができます」との声が多く聽かれた。

「エイサー」の演舞をビデオ放映

懇談会場では、一昨年に組織された「沖縄県人会」が、大学祭などで披露した「エイサー」の演舞がビデオ放映され、参加者たちは、岐阜の地で生き生きと大学生活を送る我が子の姿を確認していた。



国際交流の集いで「エイサー」を披露

沖縄県出身者の在学生や新入生の父母を対象とした「朝日大学教育懇談会」が、沖縄都ホテル（那覇市）で開催され130名を超える参加者があった。

懇談会では、即戦力として実社会に旅立つことができる魅力ある教育内容、きめ細かな指導体制、充実した医療体制や施設設備がそれぞれ紹介された。説明を聞いた父母たちからは、「沖縄とは気候などの違いはあるものの、学べる環境が整っており安心して子供を送り出すことができます」との声が多く聽かれた。

瑞穂市長からの激励

国際大会に出場する体育会ボウリングチームの安里秀策選手（ビジネス企画2年：沖縄）と竹川ひかる選手（同2年：岡山）が、堀孝正瑞穂市長から「国際大会とぎふ清流国体でのすばらしい活躍を期待します」との力強い応援の言葉と激励金を受けた。



堀市長から激励を受けた竹川・安里選手（右）

安里選手：アジアユースボウリング選手権大会（エジプト：カイロ）

竹川選手：WORLD BOWLING TOUR（日本：福岡）

創立41周年記念植樹

朝日大学では、本年1月19日（木）で創立41周年を迎えた。

これを記念して、穂積キャンパス内の野球場西側にて「記念植樹」が行われた。

大友克之学長の挨拶の後、出席した教職員の手により本学が一層たくましく発展・成長することを祈り、記念樹の「モッコク」が植樹された。



本学のさらなる発展・成長を願い、記念植樹を行った

「2012年度学年暦」決まる

法学部・経営学部

（注）日程等変更となる場合があります。

前学期の日程	行事等
3月29日～4月4日	ガイダンス期間（定期健康診断を含む。）
4月2日	入学式（春季）
4月5日	前学期授業開始
4月11日～13日	履修届・個別授業時間割表提出期間
5月7日～10日	履修登録修正期間
7月23日	前学期授業終了
7月25日～31日	前学期定期試験期間
8月1日～9月16日	夏季休業期間
8月1日～9日	集中講義期間
8月10日	前学期定期試験合否結果発表日、前学期追・再試験手続日
8月21日～27日	前学期追・再試験期間
9月14日	学位記授与式（春季）
9月15日	入学式（秋季）
9月17日	後学期授業開始
9月17日～19日	前学期成績通知表配付期間
9月29日～10月9日	ぎふ清流国体応援休業

法学部・経営学部では、授業日数の確保という観点から、2012年度は特定の祝祭日等（7月16日～海の日、9月17日～敬老の日、11月23日～勤労感謝の日、12月24日～天皇誕生日）に授業を実施することとし、該当する祝祭日の振替休日として特定日（7月24日、10月19日、12月27日、1月15日）を休日（授業を行わない日）とします。

なお、このことにより、休日の日数が減ることはありません。

入学式を4月2日に挙行

歯学部

（6学年も3月29日に新年度開始）

（注）日程等変更となる場合があります。

前学期の日程	行事等		
	1学年	2・3・4学年	5学年
3月29日	入学式	ガイダンス、定期健康診断	ガイダンス、定期健康診断
4月2日	ガイダンス、定期健康診断	前学期授業開始	前学期授業開始
4月3日	学生部オリエンテーション、アートメントテスト		
4月4日	新入生学外研修		
4月5・6日	前学期授業開始		
4月9日			
5月21・22日			課題講義Ⅰ①試験
6月2日			登院式
7月18日		前学期授業終了（2・4年）	
7月19日	前学期授業終了（3年）		
7月23日	前学期定期試験開始	前学期定期試験開始	
7月28日	前学期定期試験終了	前学期定期試験終了	
8月1日	夏季休業開始	夏季休業開始	
8月27日	夏季休業終了	夏季休業終了	
8月28日	前学期追・再試験開始	前学期追・再試験開始	
8月29・30日			課題講義Ⅰ②試験
9月3日	前学期追・再試験終了	前学期追・再試験終了	
9月4日	後学期授業開始	後学期授業開始	

歯学部での祝祭日等の対応については、従前（カレンダーどおり）のとおり取り扱うこととします。